



③エベレストのベースキャンプを目指してトレッキング。さすがに酸素は薄い(ネパール)



④7月に始めた自転車旅も気づけば真冬に。周辺国を旅したあとにキルギスへ戻り、年越しもキルギスで迎えた。



1

①1,500円で砂漠1泊ラクダツアー(インド)



2

②観光大国インドではたくさんの旅行者と時間を共にした。みんな別の国の人たちで母国語もばらばら(インド)



2

②子どもたちに囲まれて(パキスタン)



5



4

④ソビエト社会主義共和国連邦の様相が残るビル(ウズベキスタン)

⑤散歩中になぜか結婚式に巻き込まれ、ウォッカををたらふく飲まされる(ウズベキスタン)



1

①乾燥しているうえ、日差しと風、砂埃に悩まされる。旅のほとんどはテント泊(カザフスタン)



3

③『百聞百見は一験に如かず』。仲違いの二国の国境で、毎日数万人規模のセレモニーが行われていることを知っている人はどれだけいるだろう(パキスタン、インド国境)

文化の違いは感じましたか。一番感じたのは宗教の違いです。日本にいるときは、宗教について考えたことはありませんでしたが、パキスタンはイスラム教、インドはヒンドウ教と、どちらの国も宗教と日々の生活が密接に関わっており、人柄や物事の考え方は宗教に基づいています。毎日5回はお祈りをしますし、子どもが生まれたら「モスク(イスラム教の礼拝堂)」で祈りを捧げるなど、日本では触れることができない文化に触れることができました。中央アジアに関しては、言葉はロシア語でロシア文化が主流ですが、食べ物には麺料理や餃子のような食べ物もあり、中華人民共和国の影響があります。ウズベキスタンへ行く

と中東系の顔の人が多く、多種多様な人種と文化が混在しています。民族衣装やイスラム教の衣装を日常でみんなが着ていますし、同じ国でもイスラム教が厳格な地域は、女性が目まですべて覆われた衣装を着ている、家族以外の男性には素肌や顔を見せないのが普通です。そういうところも興味深いものがありました。

海外で印象に残っていることは、タジキスタンを自転車で行ったときですが、たまたま通りかかったおじいさんに誘われて、その方

の家へおじゃまして卵入りのスープや手作りのパンをごちそうになりました。

タジキスタンという国は、中央アジアの中でも最貧国と言われており、このおじいさんが暮らしている地域は、特に貧しい地域だったので、きれいな湧水やヒマラヤが見える美しいところでした。おじいさんの家には孫がいて、母親はイスラム教なので、窓からちらちらと姿を見せるだけ。父親はお金がないため、ロシアへ出稼ぎに行っていました。

貧しい生活をしていても、食べ物がないわけではなく、きれいな景色が見える場所で幸せに暮らしている

られる、それでも学校や病院へ行くためにはお金が必要なので、父親は出稼ぎに行かなければならない。こうした暮らしを目の当たりにすると、すごくいろいろなことを考えさせられます。また、貧しくても見ず知ら

ずの私に昼食をごちそうしてくれる心の豊かさというか、優しさがあるのは、本当にすごいと思います。

私の旅のテーマは『人と文化に出会うこと』であり、こうした人たちの生活や優しさに触れたときは、心の底から海外へ行って良かったなと思います。

ほかの国にも行ってみたいと思いますか。

次はイラン・イスラム共和国などの中東やオーストラリアやニュージーランド、あとはポリネシア多民族国やペルー共和国、アルゼンチン共和国などの南米にも行ってみたいと思っています。

次も自転車を使いますか。

はい。バスやタクシーなどを使ってもいいのですが、それだと目的地から目的地までというように、点と点での移動になってしまいます。それでもいいのですが、自転車なら点と点を線でつなぐことができ、そこで多くの人たちと出会いや文化に触れることができます。私は、やっぱり人に出会える、文化に触れることができる旅がしたいので、自転車で旅を続けたいと思っています。

料理は基本、どれもおいしいのですが「クムス」という馬の乳とアルコールを一緒に発酵させた飲み物は、独特な酸味があり、何回飲んでもだめでした。「クルト」という乳発酵食品も苦手でした。パキスタンやインドの「ビリヤニ」というカレー味の炊き込みご飯は、本当においしいです。すごく辛くて食べるたびにお腹を壊すのですが、それでも何度も食べてしまいました。

白糠町では「青年就業者海外等研修事業」など、海外等での研修事業を実施しています。とても良い取り組みだと思います。今回の旅では、どこの国へ行っても「近年は日本人を見なくなった」と言われました。日本人のパスポート保有率は約17%しかなく、多くの日本人が海外へ行っていません。とてもいい経験ができるのに、すごくもったいないと思います。特に日本は独立した島国なので、他国を感じにくい。もっと世界に目を向けなければ、なかなかグローバル化は進まないのだからと思います。もう一つ感じたのは、日本の生活の豊かさです。海外での暮らしを経験し、日本で過ごせるありがたさを一層強く感じ